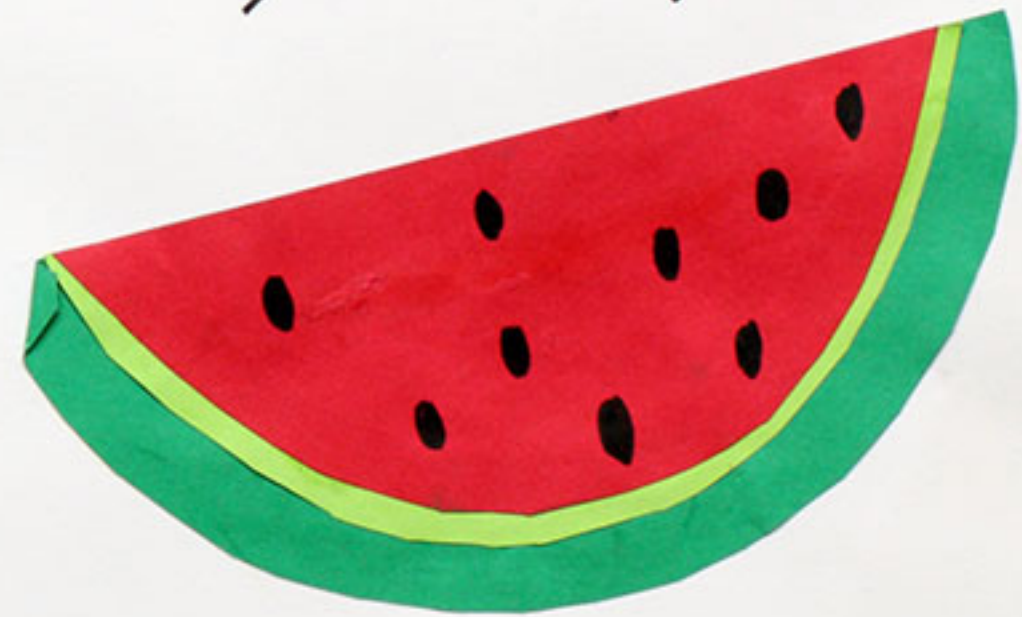


スイカ作り(に)ちゅうせん  
~おいしいスイカを作りたい!~



豊富小学校  
3年 福井 翔



# 1. はじめに

ぼくのすきなくだ物は、スイカです。去年の夏、広い畑にスイカができていた所を見ました。そのスイカが、とてもおいしそうだったので、ぼくもスイカを作ってみたなと思いました。

今年の4月、買い物に行くと、小玉スイカのなえがうっていました。「ぼくが育てる」と言い、買ってもらいました。

ぼくの家の花だんはせまいけれど、おいしいスイカはできるのかな。小玉スイカのなえを育てて、かんさつしたことをきろくして、夏休みにまとめました。





# 3、ぼくのよそう

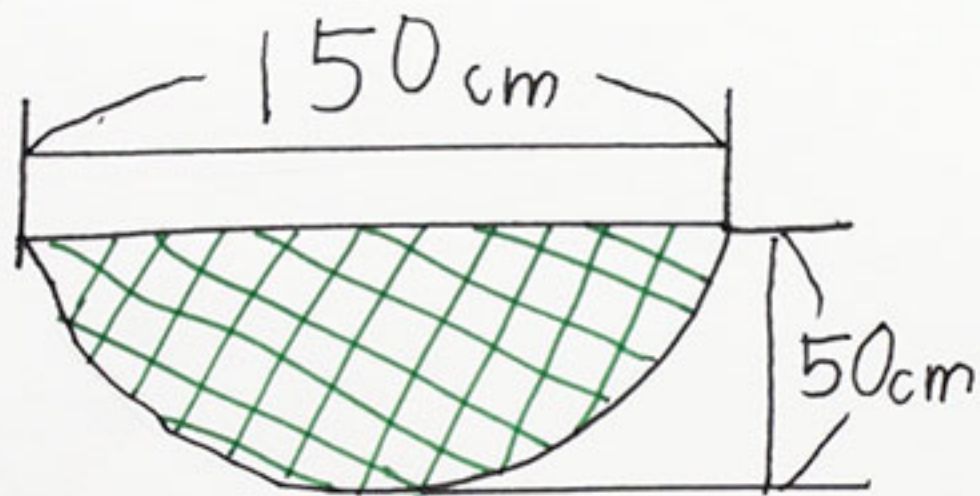
- 小玉スイカが5こできる。
- 大きさは12cmくらい
- 花がいっぱい咲く。
- つるは土の上だけに広がる。
- まっかたねが少なくおいしい小玉スイカができる。





## 2、家の花だん

### ①大きさ



花だんの周りは  
小さな石

### ②日あたり

南がわにへいがあり、日が当たるのは、  
11時から17時ごろ



# 4. かんさつ経か

〈4月16日〉



店の人に小玉スイカの育て方を聞き  
小玉スイカのなえ、ひょうをえらんでもらった  
(教えてもらったとおりに育てていく)



土をやわらかく  
してなえをうえる。



なえの回りにひょう  
をまいた



しもよけをかぶせた。  
(4月22日にはずした)



## ☆ふしぎに思ったこと

。なぜ土をせあらわしてから植えるの？

→ 土の中の根が土の中このひびきやすくなるから

。なぜひりょうははひつようなの？

→ 植物にとって、ひりょうはえいようだから

。なぜしもよけがいのの？

→ しもが葉にあたると、葉はこおる。葉がこおると、葉の細ぼうがしんでしまい、葉がかれてしまう。

しもがあたらないように、しもよけがひつよう

(気温が20℃をこえ、夜のひえこみがゆるくなればとる)



<4月30日>

スイカのくきからつるがのびてきたので、つるが  
まきつくよう、ネットをかけた。



↑  
スイカのツル

↑  
ネットが風でとばないようにクイを打った。

☆ ふしぎに思ったこと

○ なぜツルがのびてくるの？

→ 植物がのびるとより多くの太陽の光をたっぷりあびることが  
できる。くきをツルにかえて、ほかの物にまきつく事で  
早くのびる事ができる ← まきつく物がみつよう。



<5月26日>

・おしべとめしべがさいたので、じゅわんした。

①



(おしべ)

- ・つぼみの下にふくらみがない
- ・めしべよりも多くさく (34こさいた)
- ・花ふんがついている。



②



(めしべ)

- ・つぼみの下にふくらみがある。
- ・ふくらみが実になる。
- ・おしべより少ない (11こさいた)



③



(じゅわん)

- ・おしべの花をつんで花びらをとりのぞき、めしべの中心にこすりつける。(花ふんをつける)
- ・朝10時までにじゅわんをすませる。



## ☆ ふしぎに思ったこと

・なぜじゅぶんしないといけなののか？

→ふつうなら、虫の力で花ふんをつけることでじゅぶんするが、スイカはめしべのつく場所がかぎられているので、虫がこないことがある。そのため人の力でじゅぶんさせる

・花ふんってなに？

→植物の花のおしべから出るこなじょうの糸ぼう。

花ふんがめしべの先たんにつくことにより、じゅぶんが行われる。

・なぜ10時までにはじゅぶんするの？

→10時をこえると、おしべの花ふんの出が悪くなる。

なるべく朝早くにじゅぶんする。





<6月6日>

じゅぶん後 7日

大きさ



4.5cm

分った  
こと

。じゅぶん後から  
2倍になった  
。形は糸田長い  
。よこにもたて  
にも大きくなった

<6月7日>

じゅぶん後 8日



6cm

。1日で1.5cm  
大きくなった  
。つるははぼくの  
せたけになった



<6月9日>

じゅぶん後 10日



9cm

。あつくなり毎日  
水やりをした。  
。ナメクジが  
いたら、つかまえて  
にがした。





<6月11日>

じゅぶん後 12日

- ・ひりょうきあげた
- ・手にいっぱい  
にぎって2回
- ・なえのまわりに  
まく。



<6月12日>

じゅぶん後 13日



- ・たての長さ  
11.5cm
- ・周囲の長さ  
29cm

<6月19日>

じゅぶん後 20日



- ・たての長さ  
14cm
  - ・周囲の長さ  
37cm
- スイカらしくなってきた



☆ いんしぎに思ったこと。

・じゅぶんしたためしべの中には、大きくならずかれるものもある。なぜだろう。

→じゅぶん後にすぐ雨がふる。



→じゅぶん時に強くおしてしまいめしべをきずつける。

→太陽の光や水がふそくしている。

・大きくならないめしべの中はどうなっているのだろう。

→ほう丁で切ってみたら、中心からくさっていた。

→中心からくさるので、見た目はきれいでも、成長

しない





<6月21日>

○スイカの葉っぱのよう子がおかしい!



スイカの葉が黄色くなったものや、黒い点々が出げん。  
。葉をちぎり、アグロに そうだんをしいに行った。

→ お店のお姉さんが原因と、  
病気にきく薬を教えられた  
→ すぐに薬を使えば、スイカには  
えいきょうがない事を知り、  
あん心した。





# ① 病気の原因



■ ベト病 ■

・土の中にいる病原きんがくきや、葉の気孔からしん入する事で病気になる。  
・水はけが悪く雨が多いと発生しやすい



■ たんそ病 ■

・ベト病と同じで、病原きんは、土の中にいる。  
・黒いはん点ができ、それが広がって葉が枯れる。  
・雨が深い時に、発生しやすい。

※どちらもカビが原因

※病気になる1週間前から雨がつつづいていた。



## ② 治りょう方法

- ・度かかると治らないうため、病気の葉は取る。
- ・ベンレート(薬)をまいて、広がりをふせぐ。

## ③ 薬の作り方



(じゅんびする物)  
バケツ、計りょうカップ  
きりふき、ベンレート



1Lの水の中に  
薬ふくろ入れる。



しっかりまぜる。



きりふきに入  
れる。



完成



#### ④薬をまく



病気の葉を切る こんなにあった

のこった葉のうらと表に薬を  
かける。(全体に)

#### ⑤薬のこうか

- ベト病とたんそ病が広がらなくなった。
- のこった葉がかれる事はなかった。
- スイカは大きくなっていった。
- つるカビのびて、花がさきだした。





<6月23日>

じゅぶん後 24日

。鳥(カラス)に、  
つつかれない  
よう、カバーを  
かけた。



<6月26日>

じゅぶん後 27日



。たての長さ

15cm

。周囲の長さ

39cm

<7月2日>

じゅぶん後 33日



。たての長さ

17cm

。周囲の長さ

39cm 5mm

しゅうかく日だ!!



〈7月2日〉

・じゅふん後30日を超え、スイカ近くのつるが、かれ始めたので、しゅうかくした。



近くのつるがかれる



くきを切る。



しゅうかく!

「ぼくの顔と同じくらいで、びっくり」



上



下

・上をむいていた方は、色がきれい。  
・下(ネットの方)をむいていた方は、色がうすく、きずがあった。

↑ 太陽があたらず、下が石だったため



# ① スイカを切る。

・夜まで、れいぞうこでひやした後、切った。



「おいしい…  
のかな？」

りょう方のへたをおとす。

少し色がうすい

↑ しゅうかくが早かったようだ

# ② し食



・スイカの味がした。

・お店で買うよりあまさが少なかった。

・少しかたい部分があった。



<7月11日>

・じゅぶん後40日まで待ち、2つ目をしゅうかくした。



- ・たての長さ15cm
- ・周囲の長さ42.2cm
- ・1つ目より少し大きい

<7月14日>

・3日 せいぞうこでひやしちて切ってし食した。



「あまくて  
うまい」

色はしっかりと赤い!

お店で買うあまさだった。



## 5、よそうのけっか

- 小玉スイカは、2本のなえから2つしゅうかくできた。
- スイカの大きさは、17cmと、15cmだった。
- 花は、おしべが34こ、めしべが、1にさいいた。
- つるは、土の上だけではなく、ネットのはしまでのびた。
- たねが多く、まかではないが、おいしい小玉スイカができた。



## 6、知ったこと

- スイカが成長するには、じゅんがいるが全部は大きくならない。
- 花だんが小さくても、つるがまきつく戸所があれば、のびていく。
- 病気にかかるともある。薬もある。
- しゅうかくのタイミングによっておいしさもかわる。
- ぼくの家のおせまい花だんでも、小玉スイカはできる。



## 7. 考さつ

スイカは、家の小さな花だんでも、作れました。

おいしいスイカを作るためには、広さよりも、①つるかまきつくことのできる場所を作る ②じゅぶんをしっかりする ③スイカをしゅうかくするタイミングをしっかりとみる事が、大切です。

今回のように下が石だった場合は、スイカのおもみつきずがついてしまうため、スイカの下にスポンジや、土をおくとよいのではないかと思います。

スイカのなえを植える広さにかんけいなく、毎日世おをして、へん化があれば、言周べて手助けしてあげると事で、おいしいスイカは作れると思います。



## 8. かんそう

ぼくは、スイカのかんさつを通してスイカも生きているんだなと思いました。せまい花だんななのに、ネットをはると、つるを出して、まきついて、とんとん体をのばしていきます。病気にもかかります。薬でなおしてあげると、とんとん元気になり、またつるがのび出し、花がさき出しました。まるで、ぼくがかぜをひいて、薬をのんで、元気になった時のようでした。

スイカは、生きているからこそ、大切に育てて、食べる時には、育ててくれた人と、おいしく育ててくれたスイカに、「ありがとう」の気持ちをこめて、「いただきます」と言うん



だなど分かりました。

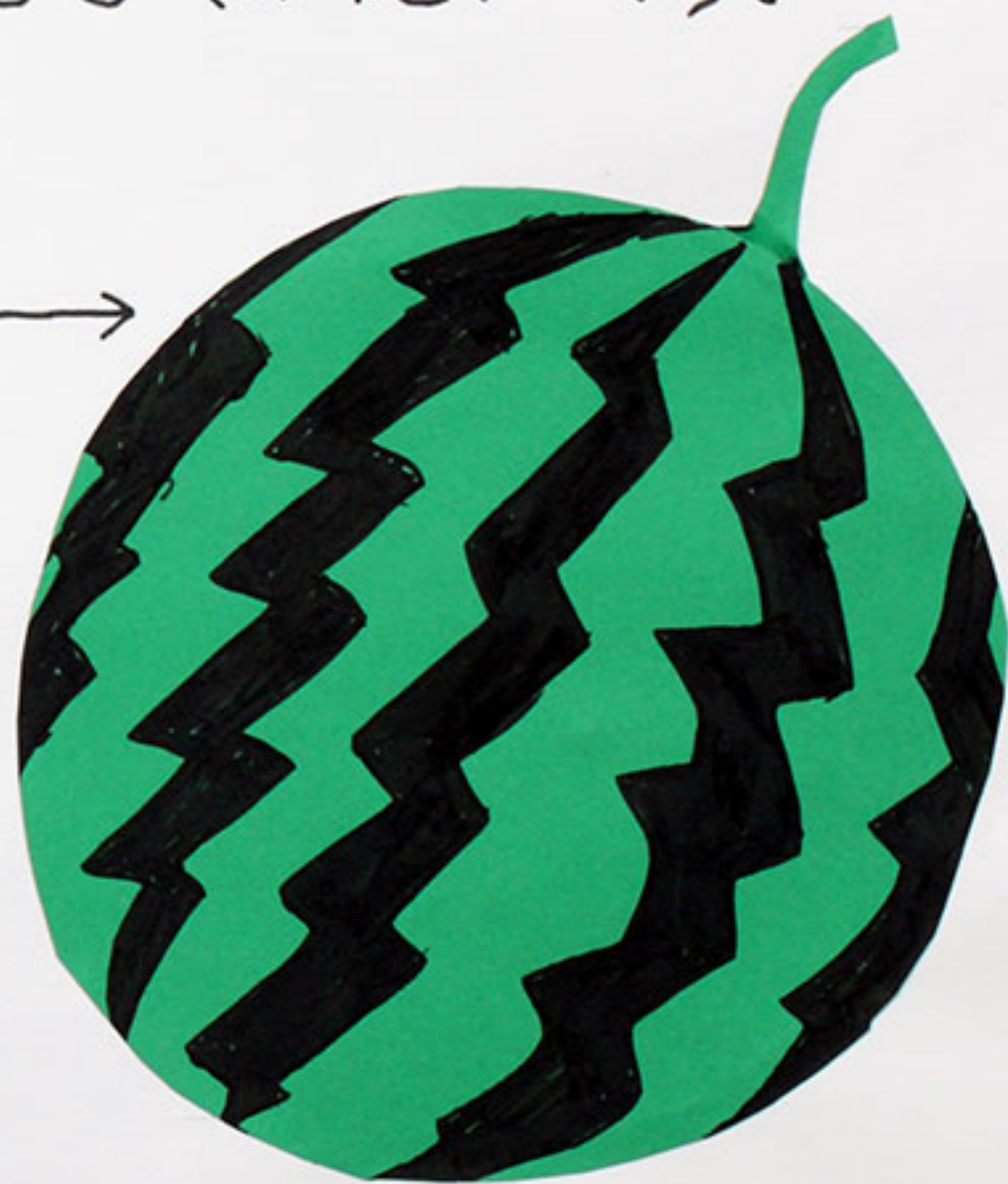
ぼくが一生けんめい育てたスイカは、家ぞくみんなで食べました。みんな「おいしい、おいしい」と言って食べてくれてすごくうれしかったです。

つぎは、大玉スイカに、ちょうせんしてみたいです。

実物大 (直径17cm) →



「めっちゃ  
おいしい  
ぜん!!」





<さい後に>

スイカの育て方を教えてくれて、病気の時にも、そう  
だんにのってくれた、アグロの店員さん、本当にありがとう  
ございました。



※さん考しりょう

インターネット(小玉スイカ土植えの育て方ほか)